

高知県感染症発生動向調査（週報）

2019年 第52週（12月23日～12月29日）

2020年 第1週（12月30日～1月5日）

★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

 : 急増
  : 増加
  : 横ばい
  : 減少
  : 急減

第52週（12月23日～12月29日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ		15.73	安芸で急増、県全域、高知市、幡多、中央東、須崎で増加し、県全域、高知市、幡多、中央西、中央東では注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3.13	幡多で急減、高知市、中央東で減少していますが、中央西、安芸で急増、須崎で増加し、中央西では警報値を、須崎では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎		2.23	中央西で急減、県全域、幡多で減少していますが、安芸で急増しています。
伝染性紅斑		1.00	高知市で減少していますが、安芸、幡多で急増、中央東で増加し、安芸、須崎では警報値を、県全域、高知市では注意報値を超えています。
手足口病		0.50	幡多で急減していますが、県全域、高知市、中央東で急増しています。

第1週（12月30日～1月5日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ		19.56	県全域、幡多、中央西、須崎、安芸で増加し、県全域及び全ての保健所管内で注意報値を超えています。
感染性胃腸炎		1.30	幡多、安芸、中央西で急減、県全域、高知市、須崎で減少しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.70	県全域、高知市、中央西、中央東、須崎で急減、幡多で減少していますが、安芸で急増しています。
RSウイルス感染症		0.47	中央東で急減、高知市で減少していますが、中央西で急増、幡多で増加しています。
伝染性紅斑		0.30	県全域、安芸、高知市、中央東、須崎、幡多で急減していますが、安芸では注意報値を超えています。

★地域別感染症発生状況

第 52 週



第 1 週



【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

咳エチケット

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。



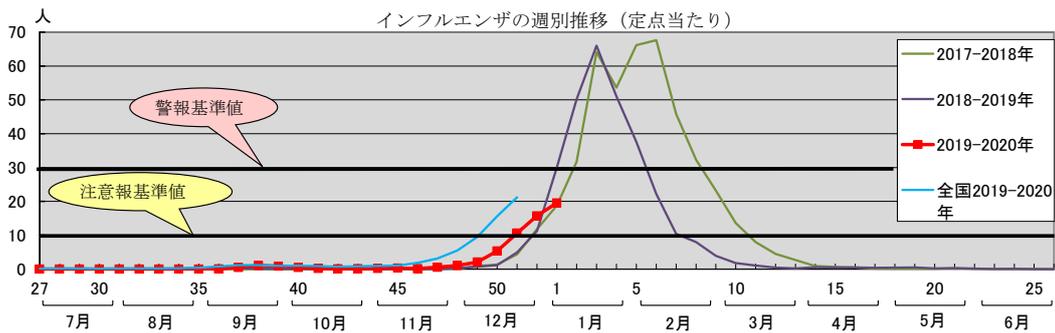
★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○インフルエンザが増加し、県全域で注意報値を超えています

学校等における集団発生の報告では学年閉鎖、学級閉鎖の報告が続いています。

また、第 1 週のインフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザ A 型 861 件、B 型 4 件、A 型・B 型同時検出 1 件、不明 73 件の報告があります。

インフルエンザは、流行期にはいっていますので、外出後の手洗いを心掛けましょう。また、症状のある方は、咳エチケットで感染対策し、早めに医療機関を受診しましょう。感染力が強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大することから、集団生活の場では特に注意が必要です。



学校等における集団発生

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
学級閉鎖	第52週	—	—	2	—	—	1	3
	累計	—	—	11	3	—	1	15
学年閉鎖	第52週	—	1	—	—	—	1	2
	累計	—	1	—	4	—	3	8
休校	第52週	—	—	—	—	—	—	0
	累計	—	—	—	—	—	1	1

高知県保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2020年第1週）

	第1週		第52週		第51週		第50週		第49週		第48週	
	定当	状況	定当	状況								
高知県全域	19.56	○	15.73	○	10.65	○	5.35	-	2.08	-	1.02	-
安芸	10.75	○	6.50	-	0.25	-	0.75	-	0.25	-	0.00	-
中央東	13.91	○	11.91	○	6.55	-	2.00	-	0.45	-	0.27	-
高知市	27.00	○	22.63	○	13.75	○	3.63	-	1.38	-	1.06	-
中央西	18.60	○	14.20	○	17.80	○	26.40	○	12.80	○	5.00	-
須崎	14.50	○	8.75	-	6.25	-	5.50	-	1.00	-	0.25	-
幡多	20.00	○	16.25	○	13.00	○	2.50	-	0.50	-	0.38	-
全国					21.22	-	15.62	○	9.52	-	5.52	-

注意報値：○（10以上30未満） 警報値：△（30以上）

＜予防方法＞ 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

【学校感染症】

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

●厚生労働省「インフルエンザ総合ページ」

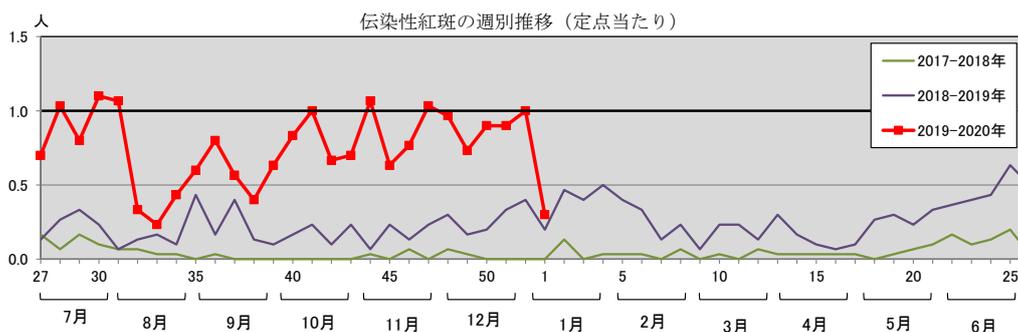
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infulenza/index.html

○伝染性紅斑（リンゴ病）気を付けて！

伝染性紅斑は別称「リンゴ病」と呼ばれ、頬がリンゴのように赤くなります。

7日前後の潜伏期間があり、その後、両頬に鮮明な紅い発疹が現れ、体や手足に網目状の発疹が広がります。通常1週間程度でそれらは消失します。多くの場合、頬に発疹が出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、まれに胎児の異常（胎児水腫）や流産が生じることがあるので注意が必要です。



＜予防方法＞ 手洗いと咳エチケットです

飛沫感染や接触感染なので、手洗い、咳エチケット等の予防対策が有効です。予防接種はありません。ウイルス排泄時期には特徴的な症状を示さない場合もあるので、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、できるだけ発熱などの症状のある患者との接触を避けるよう注意しましょう。

【学校感染症】

伝染性紅斑は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発疹（リンゴ病）のみで全身症状がよければ登校可能」と規定される学校感染症（第3種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！

第52週に中央東福祉保健所管内から「つつが虫病」の発生届けが報告されています。

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖かくなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

また、「ツツガムシ」に咬まれることによって感染する「つつが虫病」にもご注意ください。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2mm）」が媒介する感染症です。全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。

予防対策については、マダニと同じく「ツツガムシに咬まれない」ことです。

屋外活動する時には、長袖や長ズボンで肌の露出を避けることや、ツツガムシに対する虫除け剤（有効成分：ディート）を活用するなどマダニと同様の対策をして注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_ga.html
- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★病原体検出情報

第52週

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
52	不明発疹症	37℃,発疹,	1	男	須崎	Cytomegalovirus
52	—	40℃,	18	女	高知市	Human herpes virus 7
52	インフルエンザ	39℃,肺炎,	2	男	高知市	Influenza virus A H1pdm09
52	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	9	男	高知市	Influenza virus A H1pdm09
52	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	4	女	中央東	Influenza virus A H1pdm09
52	感染性胃腸炎	38℃,下痢,嘔吐,嘔気,	1	女	須崎	Norovirus GII NT
52	感染性胃腸炎	37℃,下痢,嘔吐,嘔気,腹痛,	2	女	須崎	Norovirus GII NT

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
51	不明発疹症	40℃,咳嗽,発疹,	1	男	須崎	Adenovirus 1
51	伝染性紅斑	39℃,発疹,	3	男	須崎	Adenovirus 54

<国内のインフルエンザウイルス検出状況>

国内のインフルエンザウイルス検出状況は、今シーズン直近5週（2019年第48週～第52週）では、AH1pdm09の検出割合が最も多く97%（461件）、次いでAH3が2%（8件）、B（ビクトリア系統）が1%（6件）となっています。

★全数把握感染症

第 52 週

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	103	90 歳代 女	中央東
4 類	つつが虫病	1	3	80 歳代 男	
5 類	百日咳	1	172	15~19 歳 男	幡 多
		1		30 歳代 男	
		1		30 歳代 男	

★定点医療機関からのホット情報

第 52 週

保健所	医療機関	情 報
中央東	高知大学医学部付属病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (5 歳女)
	早明浦病院小児科	インフルエンザ A 型 2 例 (4 歳男、6 歳女) ノロウイルス胃腸炎 1 例 (4 歳男：県外より)
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A 型 6 例 (7 歳女：ワクチン 1 回済み、 7 歳男 2 人：ワクチン 2 回済み)
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 2 例 (3 歳女、23 歳女) インフルエンザ A 型 5 例
	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 2 例 (7 歳) カンピロバクター腸炎 1 例 (15 歳) 病原性大腸菌 O1 腸炎 1 例 (14 歳) 病原性大腸菌 O-25 腸炎 1 例 (3 歳) カンピロバクター+病原性大腸菌 O-25 腸炎 1 例 (4 歳) ノロウイルス腸炎 1 例 (1 歳) アデノウイルス咽頭炎 1 例 (1 歳)
	三愛病院小児科	マイコプラズマ気管支炎 2 例 (3 歳男、13 歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 39 例 溶連菌感染症 8 例 インフルエンザ A 型と溶連菌感染症同時感染 2 例 (4 歳女、10 歳男) マイコプラズマ (LAMP 法) 2 例 (3 歳女) 伝染性紅斑 2 例 (2 歳男女)
中央西	石黒小児科	水痘 1 例 (10 歳女：ワクチン 1 回済み) インフルエンザ A 型 20 例 (内予防接種済み 7 例)
	くぼたこどもクリニック	溶連菌 2 例 (2 歳女：高知市、10 歳男：仁淀川町) アデノウイルス扁桃炎 1 例 (5 歳女) 突発性発疹 1 例 (1 歳女：県外から帰省) インフルエンザ A 型 11 例 (内ワクチン 1 回済み 2 人：4 歳男、8 歳男 ワクチン済み 3 人：10 歳男、13 歳男、48 歳女)
	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (2 歳女) インフルエンザ A 型と溶連菌同時感染 2 例 (6 歳男、8 歳女) 帯状疱疹 1 例 (14 歳男)
須 崎	もりはた小児科	ノロウイルス胃腸炎 2 例 インフルエンザ A 型 16 例 (全例 A 型)
幡 多	こいけクリニック	アデノウイルス感染症 1 例 (6 歳女)
	さたけ小児科	帯状疱疹 1 例 (3 歳男) インフルエンザ A 型 38 例
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 1 例 (1 歳男)

第1週

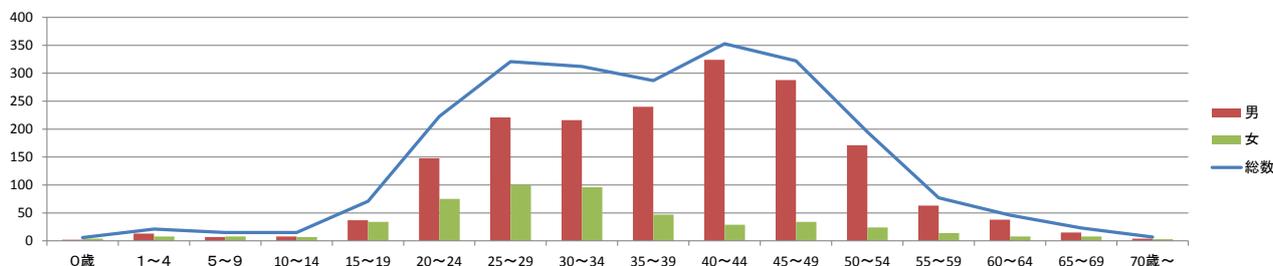
保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1例 (13歳女)
中央東	早明浦病院小児科	インフルエンザ A型 1例 (4歳女)
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A型 9例 (内8歳女: ワクチン2回済み)
高知市	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症 1例 (2ヶ月男) hMPV 1例 (2歳男) インフルエンザ A型 7例
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A型 9例 溶連菌感染症 3例 インフルエンザ A型と溶連菌感染症同時感染 1例 (6歳女) 伝染性紅斑 2例 伝染性紅斑と溶連菌感染症同時感染 1例 (12歳男)
中央西	石黒小児科	インフルエンザ A型 9例
	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ A型 2例 (11ヶ月女: ワクチン済み、13歳男)
須崎	もりはた小児科	滲出性扁桃炎 (アデノ) 3例 (1歳、3歳2人) 水痘 1例 (10歳女: ワクチン1回済み) インフルエンザ A型 5例 (全例 A型)
幡多	こいけクリニック	hMPV肺炎 1例 (1歳女)
	さたけ小児科	インフルエンザ A型 17例
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 2例 (1歳女)

★県外で注目すべき感染症

○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2019年第1週～51週の報告数は2,294人となっており、94% (2,166人) が成人で、30歳から50歳の男性を中心に (男性1,795人、女性499人) に報告数の多い状態です。

2019年累積風しん報告数(年齢別・性別)



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では2つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

- 対象者**・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性
- ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）
 - ・風しんの追加的対策として、1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布
- 1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）

検査結果：検査後1～2週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします

厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成30年8月17日付け30高健対第859号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- 1) 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- 2) 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生環境研究所で行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しんの追加的対策関係：医療機関・健診機関向け手引き（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00003.html

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/

●衛研ニュース第20号（高知県衛生環境研究所）30～50歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

★2020年1月1日より感染症の届出様式の一部が改正されています

<内容>

届出様式の感染地域の項目に「渡航期間」を記載項目として追加する

（令和2年1月1日から適用）

<改正のある疾患>

- 1 類感染症：エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
- 2 類感染症：中東呼吸器症候群（MERS）、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）
- 4 類感染症：ジカウイルス感染症、チクングニア熱、デング熱、マラリア
- 5 類感染症：侵襲性髄膜炎菌感染症、水痘（入院例に限る。）、風しん、麻疹

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2020年1月6日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
 疾病別・地域別報告数
 第52週

高知県感染症情報(59定点医療機関)

定点名	保健所 疾病名	第52週 令和元年12月23日(月)～令和元年12月29日(日)						高知県衛生環境研究所				
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(51週)	高知県(52週末累計) H30/12/31～R1/12/29	全国(51週末累計) H30/12/31～R1/12/22
小児科	インフルエンザ	26	131	362	71	35	130	755 (15.73)	511 (10.65)	105,221 (21.22)	15,631 (325.65)	1,760,592 (356.40)
小児科	咽頭結核膜炎			5	1	2	4	12 (0.40)	12 (0.40)	2,444 (0.77)	806 (26.87)	72,986 (23.13)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	3	41	29	13	7	94 (3.13)	102 (3.40)	11,780 (3.72)	3,298 (109.93)	344,704 (109.22)
	感染性胃腸炎	3	16	24	3	3	18	67 (2.23)	91 (3.03)	23,635 (7.46)	5,284 (176.13)	786,135 (249.09)
	水痘		3	2	2		1	8 (0.27)	10 (0.33)	1,993 (0.63)	396 (13.20)	54,832 (17.37)
	手足口病		1	14				15 (0.50)	7 (0.23)	2,214 (0.70)	2,732 (91.07)	400,723 (126.97)
	伝染性紅斑	8	5	11	1	4	1	30 (1.00)	27 (0.90)	2,001 (0.63)	823 (27.43)	106,390 (33.71)
	突発性発疹		4	8	1	1		14 (0.47)	8 (0.27)	1,050 (0.33)	518 (17.27)	63,438 (20.10)
	ヘルパンギーナ							()	()	213 (0.07)	763 (25.43)	96,852 (30.69)
	流行性耳下腺炎			1		1	1	3 (0.10)	3 (0.10)	241 (0.08)	53 (1.77)	14,966 (4.74)
	RSウイルス感染症		2	6			6	14 (0.47)	7 (0.23)	1,702 (0.54)	1,285 (42.83)	138,302 (43.82)
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	4 (0.01)	1 (0.33)	331 (0.48)
	流行性角結膜炎							()	1 (0.33)	445 (0.64)	63 (21.00)	22,652 (32.64)
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	5 (0.01)	3 (0.38)	457 (0.95)
	無菌性髄膜炎							()	()	17 (0.04)	5 (0.63)	793 (1.66)
	マイコプラズマ肺炎		1	1				2 (0.25)	4 (0.50)	226 (0.47)	150 (18.75)	5,884 (12.28)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	7 (0.01)	4 (0.50)	98 (0.20)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	5 (0.01)	93 (11.63)	4,685 (9.78)
計 (小児科定点当たり人数)	38 (12.50)	166 (16.77)	475 (32.81)	108 (26.53)	59 (20.75)	168 (23.85)	1,014 (24.30)			153,203	31,908 (857.58)	3,874,820
前週 (小児科定点当たり人数)	3 (1.25)	103 (10.98)	353 (25.38)	118 (27.47)	43 (15.25)	163 (24.80)		783 (19.54)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

定点名	保健所 疾病名	第52週						高知県衛生環境研究所				
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(51週)	高知県(52週末累計) H30/12/31～R1/12/29	全国(51週末累計) H30/12/31～R1/12/22
小児科	インフルエンザ	6.50	11.91	22.63	14.20	8.75	16.25	15.73	10.65	21.22	325.65	356.40
小児科	咽頭結核膜炎			0.45	0.33	1.00	0.80	0.40	0.40	0.77	26.87	23.13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.43	3.73	9.67	6.50	1.40	3.13	3.40	3.72	109.93	109.22
	感染性胃腸炎	1.50	2.29	2.18	1.00	1.50	3.60	2.23	3.03	7.46	176.13	249.09
	水痘		0.43	0.18	0.67		0.20	0.27	0.33	0.63	13.20	17.37
	手足口病		0.14	1.27				0.50	0.23	0.70	91.07	126.97
	伝染性紅斑	4.00	0.71	1.00	0.33	2.00	0.20	1.00	0.90	0.63	27.43	33.71
	突発性発疹		0.57	0.73	0.33	0.50		0.47	0.27	0.33	17.27	20.10
	ヘルパンギーナ									0.07	25.43	30.69
	流行性耳下腺炎			0.09		0.50	0.20	0.10	0.10	0.08	1.77	4.74
	RSウイルス感染症		0.29	0.55			1.20	0.47	0.23	0.54	42.83	43.82
眼科	急性出血性結膜炎									0.01	0.33	0.48
	流行性角結膜炎								0.33	0.64	21.00	32.64
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.38	0.95
	無菌性髄膜炎									0.04	0.63	1.66
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.20				0.25	0.50	0.47	18.75	12.28
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.01	0.50	0.20
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.01	11.63	9.78
計 (小児科定点当たり人数)	12.50	16.77	32.81	26.53	20.75	23.85	24.30			857.58		
前週 (小児科定点当たり人数)	1.25	10.98	25.38	27.47	15.25	24.80		19.54				

第1週

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第1週 令和元年12月30日(月)~令和2年1月5日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(51週)	高知県(1週末累計) R1/12/30~R2/1/5	全国(51週末累計) H30/12/31~R1/12/22
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
ワイルド インフル エンザ	インフルエンザ	43	153	432	93	58	160	939 (19.56)	755 (15.73)	105,221 (21.22)	939 (19.56)	1,760,592 (356.40)
小児科	咽頭結核膜炎			4		1	2	7 (0.23)	12 (0.40)	2,444 (0.77)	7 (0.23)	72,986 (23.13)
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	2	1	12	2		4	21 (0.70)	94 (3.13)	11,780 (3.72)	21 (0.70)	344,704 (109.22)
	感染性胃腸炎	1	17	14		2	5	39 (1.30)	67 (2.23)	23,635 (7.46)	39 (1.30)	786,135 (249.09)
	水痘			1	1	1		3 (0.10)	8 (0.27)	1,993 (0.63)	3 (0.10)	54,832 (17.37)
	手足口病			6	1		1	8 (0.27)	15 (0.50)	2,214 (0.70)	8 (0.27)	400,723 (126.97)
	伝染性紅斑	3	1	4	1			9 (0.30)	30 (1.00)	2,001 (0.63)	9 (0.30)	106,390 (33.71)
	突発性発疹			3	1			4 (0.13)	14 (0.47)	1,050 (0.33)	4 (0.13)	63,438 (20.10)
	ヘルパンギーナ							()	()	213 (0.07)	()	96,852 (30.69)
	流行性耳下腺炎							()	3 (0.10)	241 (0.08)	()	14,966 (4.74)
	RSウイルス感染症			4	1		9	14 (0.47)	14 (0.47)	1,702 (0.54)	14 (0.47)	138,302 (43.82)
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	4 (0.01)	()	331 (0.48)
	流行性角結膜炎							()	()	445 (0.64)	()	22,652 (32.64)
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	5 (0.01)	()	457 (0.95)
	無菌性髄膜炎							()	()	17 (0.04)	()	793 (1.66)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.13)	2 (0.25)	226 (0.47)	1 (0.13)	5,884 (12.28)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	7 (0.01)	()	98 (0.20)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	5 (0.01)	()	4,685 (9.78)
計 (小児科定点当たり人数)	49 (13.75)	172 (16.62)	481 (31.35)	100 (20.92)	62 (16.50)	181 (24.20)	1,045 (23.06)			153,203	1,045 (23.06)	3,874,820
前週 (小児科定点当たり人数)	38 (12.50)	166 (16.77)	475 (32.81)	108 (26.53)	59 (20.75)	168 (23.85)		1,014 (24.30)				

注 ()は定点当たり人数。

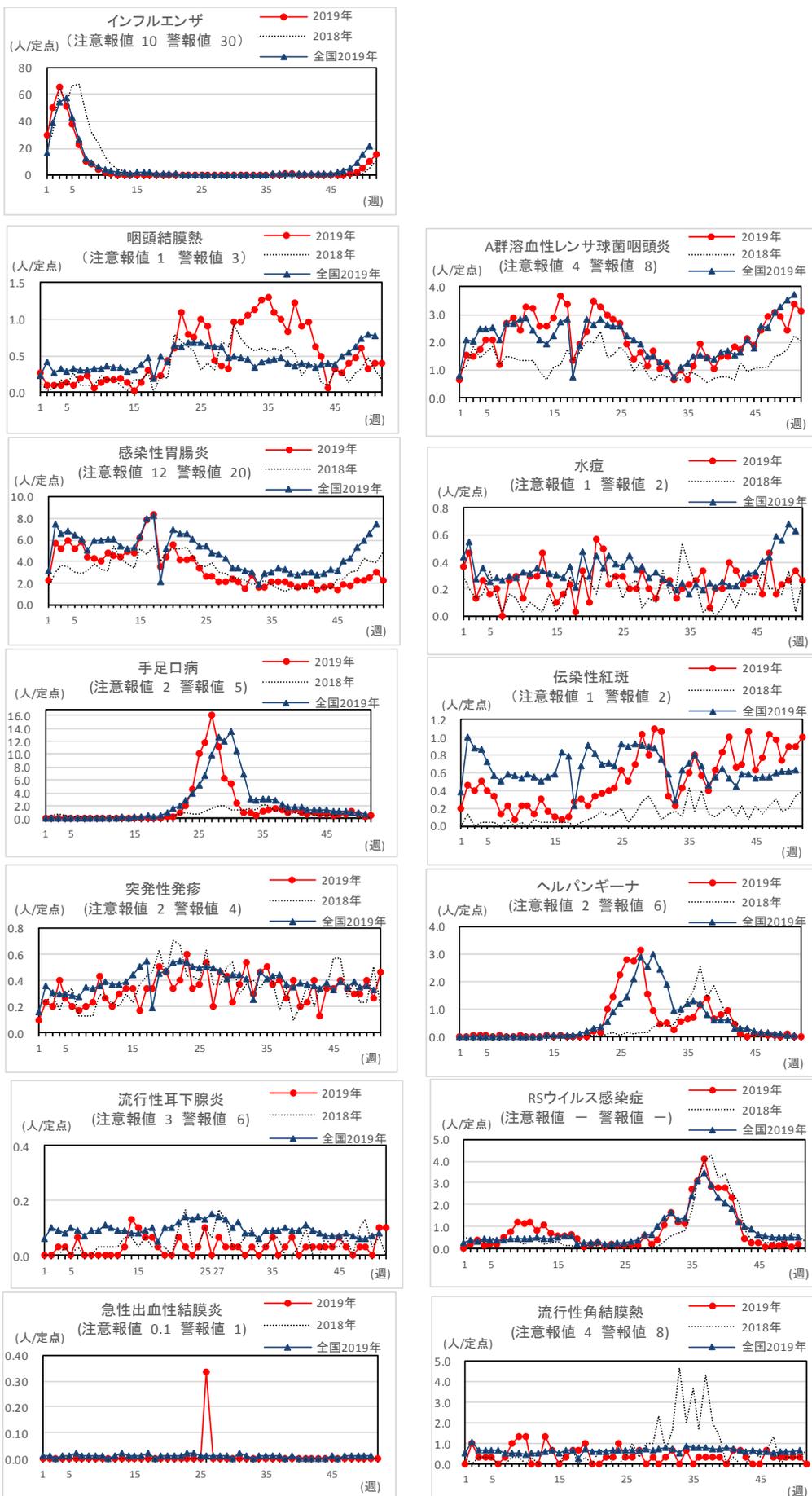
高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

第1週

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(51週)	高知県(1週末累計) R1/12/30~R2/1/5	全国(51週末累計) H30/12/31~R1/12/22
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
ワイルド インフル エンザ	インフルエンザ	10.75	13.91	27.00	18.60	14.50	20.00	19.56	15.73	21.22	19.56	356.40
小児科	咽頭結核膜炎			0.36		0.50	0.40	0.23	0.40	0.77	0.23	23.13
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	1.00	0.14	1.09	0.67		0.80	0.70	3.13	3.72	0.70	109.22
	感染性胃腸炎	0.50	2.43	1.27		1.00	1.00	1.30	2.23	7.46	1.30	249.09
	水痘			0.09	0.33	0.50		0.10	0.27	0.63	0.10	17.37
	手足口病			0.55	0.33		0.20	0.27	0.50	0.70	0.27	126.97
	伝染性紅斑	1.50	0.14	0.36	0.33			0.30	1.00	0.63	0.30	33.71
	突発性発疹			0.27	0.33			0.13	0.47	0.33	0.13	20.10
	ヘルパンギーナ									0.07		30.69
	流行性耳下腺炎								0.10	0.08		4.74
	RSウイルス感染症			0.36	0.33		1.80	0.47	0.47	0.54	0.47	43.82
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.48
	流行性角結膜炎									0.64		32.64
基幹	細菌性髄膜炎									0.01		0.95
	無菌性髄膜炎									0.04		1.66
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.13	0.25	0.47	0.13	12.28
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.01		0.20
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.01		9.78
計 (小児科定点当たり人数)	13.75	16.62	31.35	20.92	16.50	24.20	23.06			23.06		
前週 (小児科定点当たり人数)	12.50	16.77	32.81	26.53	20.75	23.85		24.30				

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2019年 第52週)



高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2020年 第1週)

